

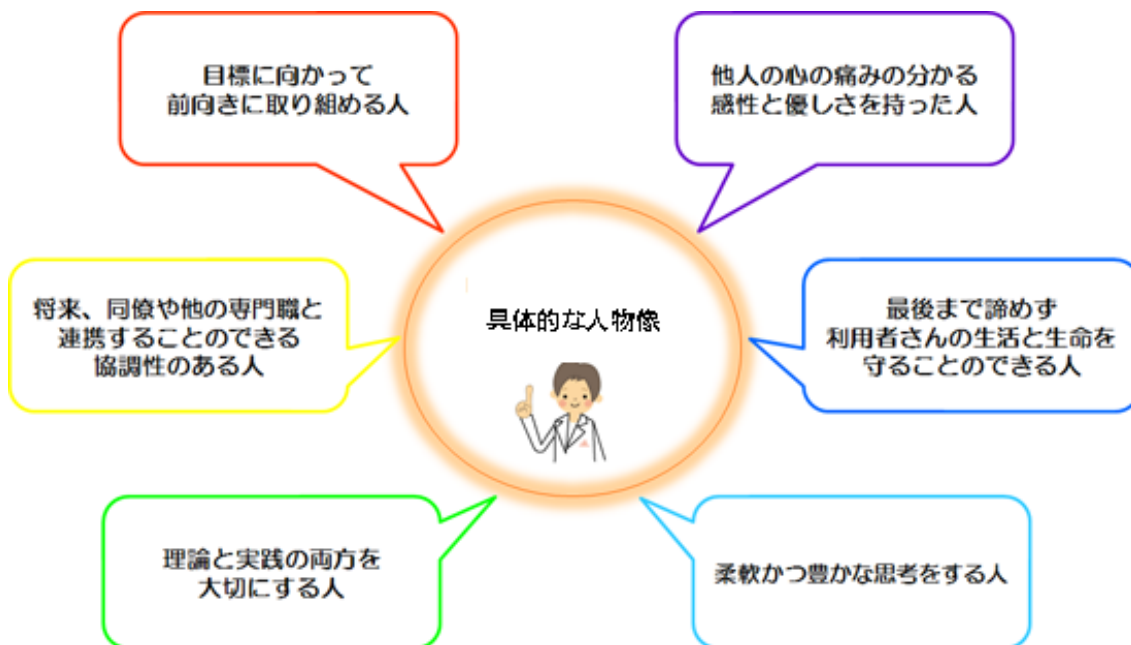
## 医療福祉学科：医療福祉コース

### アドミッションポリシー

#### ■医療福祉学科が求める学生像

医療福祉学科は、鈴鹿医療科学大学が培い蓄積してきた医療関係技術者養成の経験と実績、医療・保健と福祉・心理の総合的な教育施設としての環境をいかし、将来の医療福祉専門職及び心理カウンセラー等に求められる資質を備えた人材の養成を目的としています。それは、支援や援助の必要な人を総合的・全人格的に捉えうる高度な専門知識と技術を備え、隣接領域の医師・看護師・診療放射線技師・管理栄養士・理学療法士・臨床工学技士などの専門職と相互に連携、協力し利用者さん中心の適切な相談援助等の生活支援を提供できる人間性豊かな人材の養成を目的としています。そのために医療福祉学科では、この学科設立の理念をよく理解し、将来の医療福祉に貢献する熱意をもった人材を求めています。

#### ■具体的な人物像



## カリキュラムポリシー

### ■保健衛生学部のカリキュラムポリシー

本学建学の精神及び教育の理念に基づき、保健衛生学部には、放射線技術科学科、医療栄養学科、理学療法学科、医療福祉学科、鍼灸学科を設置し、放射線、磁気共鳴等を使う医療、健康と栄養、運動機能回復、介護・福祉、鍼灸医療等に関する諸科学及び医学について最新で高度な教育・研究を行うことによって、優れた専門知識と技術、医療人にふさわしい教養と人間性を身につけた人材を育成することを目的とする。

### ■医療福祉学科のカリキュラムポリシー

1. 医療・福祉・心理の分野を総合的に学び、援助者としての倫理観に基づき行動できる人材を育成する。
2. 福祉・心理の分野の対人援助に関する専門知識と技術を修得し、演習やフィールドワークにより実践力を育てる。
3. 様々なボランティア活動や人々とのふれあいを通して、人としての尊厳や共生社会について学び、豊かな人間性を養う。
4. 対人援助の知識と技術を活かし、多職種の専門職と信頼関係に基づくネットワークを構築し、連携・協働できる人材を育成する。
5. 社会の変化を的確・迅速に把握し、人間本来の健康で幸福な人生の実現に向けて貢献していく向上心を育む。

### ■医療福祉コースのカリキュラムポリシー

1. 社会福祉、精神保健福祉、医療、心理を体系的、総合的に学ぶ中で、人の多様な生き方や個性、人の尊厳を理解し、ソーシャルワーカーとしての高い倫理観を獲得する。
2. 社会福祉、精神保健福祉、医療、心理を演習やフィールドワークを通して学ぶ中で、バルネラブルな人々への援助に関する専門知識と技術を修得する。
3. さまざまなボランティア活動や人々とのふれあいを通して、バルネラブルな人々を包摂する社会建設に向けてのソーシャルワーカーの役割を理解する。
4. 医療における社会福祉、精神保健福祉に関わる知識と技術の位置づけを理解し、医療関連の他職種とネットワークを構築し、連携、協働する。
5. 社会の変化の中で刻々と変化する医療と福祉の情報を的確・迅速に把握し、本来の目的に合致した医療と福祉のあるべき姿を考え、その将来像に向けてソーシャルワーカーとして参画する力を育む。

## ディプロマポリシー

### ■保健衛生学部のディプロマポリシー

幅広い教養と専門分野に関する学問知識を修得し、豊かな人間性・柔軟な科学的思考力を身につけ、保健・医療・福祉の担い手としての基本的能力を持つ。また各専門分野において将来、指導的立場に立ち、高度化・専門化する医療を支えるために、基礎理論から臨床応用へ至る系統的かつ実践的な学習を基盤とした知識・技術を高めることができる。

### ■医療福祉学科のディプロマポリシー

1. 人権と人格を尊重し、人の多様な生き方や個性を理解し、対人援助者としての倫理観を身につける。
2. 援助を必要とする人々を支援するための対人援助に関する専門知識と実践できる技術を身につける。
3. グローバルな視野と幅広い教養を備えた豊かな人間性を身につける。
4. 多職種の専門職とネットワークを構築し、連携・協働する能力を身につける。
5. 変化し進歩する社会と人々の健康・福祉との調和を目指す向上心を身につける。

### ■医療福祉コースのディプロマポリシー

1. 人権と人格を尊重し、人の多様な生き方や個性を理解し、ソーシャルワーカーとしての高い倫理観を身につけ、医療福祉のフィールドで活用できる。
2. 貧困、要保護、要介護、要支援などバルネラブルな人々の生活を支え、社会参加を図るため、人と社会に関する専門知識、それを実現させる実践の技術を身につけている。
3. 医療福祉に関してグローバルな視野を持ち、専門知識が幅広い教養と豊かな人間性を身につけている。
4. 医療の中での社会福祉、精神保健福祉の位置づけを理解し、多職種の専門職とネットワークを構築し、連携・協働する能力を身につけている。
5. 医療福祉の最前線を常に意識でき、人々の健康・福祉との調和に関わる社会的ニーズに即した活動力と自らを向上させていく力を身につけている。